



# 妙教寺だより

第25号

平成20年8月15日

現世安穩

後生善処

南無妙法蓮華經



平成二十年

霹靂火戊子歳

盛夏

ごあいさつ

妙教寺第七世  
元寇園教会第五世

順信院日薫

荒木英知

悪の中の大悪は我が身に其苦をうくるのみならず、子と孫と未へ七代までもかかり候けるなり。善の中の大善も又々かくのごとし。目連尊者が法華經信じまいらせし大善は、我が身仏になるのみならず、父母仏になり給。上七代下七代、上無量生下無量生の父母等存外に仏となり給。乃至子息夫妻所従・檀那無量衆生三悪道をはなるのみならず、

皆初住妙覚の仏となりぬ。故に法華經第三云 願以此功德 普及於一切 我等与衆生 皆共成仏道云云。

孟蘭盆御書一七七三

## 孟蘭盆法要会

御盆の候、檀信徒の皆様方には、日々、日蓮大聖人さまへのご報恩やご先祖様へのご供養などの功德を累ねてこられ、菩提寺の正法布教伝導の拠点である道場伽藍の護持の本分を尽され、過去、現在さらに未来に「法華經・お題目」を信じてきた大善こそ、我が身が仏に成ることが出来るのです。

さらに上七代下七代の子孫に至るまでも仏に成ると宗祖は教示されています。

特に、檀信徒としての本分を尽すため、諸行事のご奉仕など、信行受持を深められ種々の高配に対し、役員一同共々心から深謝いたし、暑中御見舞申し上げます。

今般、お盆会の行事を迎えるにあたり、特に来る八月十七日(日)、當山では孟蘭盆施餓鬼供養会が奉修されます。皆様と共に、ご家族揃ってご先祖様へ積善の功德を送り報恩のまことをささげたいと存じます。

## 役員に期待

さて、五月の護持会総会において、法人役員選定と護持会規定に従って、護持会役員改選について討議審

議いたしました。

諸役員については、当山の護持会活動諸般に携わってこられ、日貫上人代より永年勤められた、大野城市仲畑在の「村上卯三」氏に責任役員及び筆頭本総代並びに護持会会長に、春日市昇町在の「植村俊親」氏に本総代及び護持会副会長並びに信行会会長に、筑紫野市筑紫在の「花田正月」氏に本総代及び護持会副会長並びに護持会事務局会計に、大野城市筒井在「白水岩人」氏に本総代及び護持会事務局総務に、春日市弥生在「松尾勝次」氏に本総代及び護持会事務局会計に、代表役員住職として、委嘱申し上げます。

(護持会総会資料参照)



総代  
護持会事務局総務  
白水 岩人



総代・護持会副会長  
事務局会計長  
花田 正月



総代・護持会副会長  
事務局長・信行会会長  
植村 俊親



筆頭総代  
護持会会長  
村上 卯三



総代  
護持会事務局会計  
松尾 勝次

宗祖は、諸法実相抄に  
「末法にして妙法蓮華經の  
五字を弘めん者は男女は嫌  
ふべからず、皆地涌の菩薩の  
出現にあらずは唱へ難き題目  
なり。日蓮一人初めは南無  
妙法蓮華經と唱へしが、二人  
三人百人と次第に唱へ伝ふる  
なり。未来も又然るべし。  
(中略) 行学の二道をはげみ  
候べし。行学たへなば仏法は  
あるべからず。我もいたし人  
をも教化候へ。行学は信心よ  
りをこるべく候。力あらば一  
文一句なりともかたらせ給べ  
し。」、お言葉にあるように今

2021年 (平成33年)

宗祖日蓮大聖人御生誕 800年

2028年 (平成40年)

妙教寺開基開創 150周年

後、新役員の各位には、とくに日蓮大聖人様の勅命として深く受け止められ、宗祖のご教示の如く「異体同心」の心をたいして、當山の護持運営と、お題目の灯を一人でも多く伝える使命をもって、教宣拡張に邁進し寺門興隆に精進されますよう祈念いたします。

最後に、宗門は、ご生誕八百年記念事業推進運動の本年度のスローガンとして「いのちに合掌」を決定し、日蓮大聖人様や清正公様よって示された法華経流布の願いを現実のものにするために、「お題目を次世代へ伝える運動」を掲げております。

平成十九年度より宗祖御生誕八百年に伴う宗門運動が開始せられ、長期に亘る諸々の事業計画が啓発されていきます。就きましては発

願・護持推進のための、當山においても慶讃記念事業の第一歩を踏み出すために、五月の檀信徒総会において皆様方の協賛を得ることが出来ました。

妙教寺慶讃記念事業を推進するにあたり、「宗門大法要」、「第一期祖山総登詣団参(平成二十年十月二十一日実施)」、「宗門慶讃勧誘募金支援」、「慶讃記念大法要」、「妙教寺の事業計画」等を宗門と連携したて、妙教寺の今後の発展に寄与したいと思致します。

今後、細部は慶讃委員会等を立ち上げて、計画の立案を作成します。皆様のご賛同御協力を宜しくお願いいたします。

當山として、これらの、聖日に向い、祖恩報謝の一端に擬せんと欲し、特に、平成

二十二年に清正公御入滅四〇〇年の嘉辰を別途とするとき、本年は慶讃記念第一期事業として、左記の通り、「祖山総登詣団参」などを発願しております。

### 総登詣諸本山参拝団

平成二十年十月二十二

日(二十五日に、宗祖日蓮

大聖人の聖地「総本山身延

山久遠寺」、村雲御所「瑞龍

寺」、宗祖比叡山遊学の地

「定光院」、京都諸本山「本

満寺・妙顕寺・本法寺・立本

寺」等、諸本山(三泊四日の

報恩参拝団を企画し、日蓮

大聖人様と清正公様への御

報恩と、當山のこれからの

諸事業達成と自己の信行の

研鑽成就をお願いするため

に実施致します。尚、定員

五十二名となりましたので、

締め切りさせて頂きます。



宗祖 700 遠忌慶讃記念事業で建立された身延山久遠寺大本堂

今後とも「護法護持」と「寺門興隆」「徒弟育成」の為、役員一にして邁進いたしますので、檀信徒護持会会員各位の皆様の実心で一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。南無妙法蓮華經



「檀信徒の皆様へ」

今年は梅雨らしい激しい豪雨もなく夏の到来が早かったよう、梅雨明けの反動としての連日の猛暑には、植木・草花が渇水で困つてある事とお察し申し上げます。早く朝夕だけでも涼しい凌ぎの時間がほしいと思います。

七月二十七日、当山のお盆を控えての大掃除では、沢山の檀信徒の皆様のお参加を戴き、それぞれの部署の清掃に励まれ、短時間で想像以上の成果があった事と私をはじめ参加の皆様もお感じになられた事と思います。感謝の念で一杯です。

先日、新聞記事で「有難うを忘れた日本人」と言う記事に、驚きと憤慨の念を抱きま



誕生御降誕 呼賛を賜う 総代村上 於て宗祖 総会に於て 800年に向けて びかけられる

したが、冷静になって現在の日本を見た場合の今の日本人は、礼儀作法もわきまえず感情で行動を起こす国民になり下がり、鉄砲や刃物を持つて人の群れの中に入り、殺人を平気で犯すことが方々で起こり、嘆き悲しむ事が後を絶ちません。幸いに私達日蓮宗檀信徒は日蓮大聖人の教えを堅く守り、日々冷静に過ごすことが出来感謝の念と勇気を持って、社会の為にも皆様が安心して楽しく過ごせる世の中であるよう、努力と協力をして行く事をお約束させて頂きま

す。南無妙法蓮華経

「孫の一周忌を迎えて」

突然 此の世を去った、本当に若くして命を落した孫子供に先立たれるのも、悲しい事ですが、況や孫に先立たれるとは、その哀しみは計り知れないものでした、あつという間も無く姿を消したのですから、此の世の無上を嘆いたものです。

おじいちゃんの手術の時には、心配して、綺麗な綺麗な小鳥になって、私の前に姿をみせてくれました。

思い返せば、貴男はお上のお使いとして私達の前に現れこれからの私達の、お上への供養等を教えて呉れたのですね。

貴男は、私の前に綺麗な小鳥になって姿をみせまし

暑中御見舞申し上げます

平成二十年霹靂火戊子歳 盛夏

妙教寺 筆頭総代

護持会会長 村上 卯三

たね、千の風に乗って飛んできてくれましたね、窓の外で離れずに何時までも見守っていましたね。

お母さん思いの貴男は心配しているでしょう、これからはお母さんを助け励ましてお上への供養に努め、貴方の運命を無駄にすることなく、供養、お経に務めることが私の貴男に対する感謝の気持ちだと思います。



玉ねぎの苗を植えられる  
古賀婦人会会長（元寇園  
教会にて）

お盆も近づいてきましたね、あなたの大好きな大好きな好物を沢山作って、帰ってくるのを待っています。

人は誰しも目的なくして生命を与えられるものではありませんね。貴男の運命も私達に執つてはこの上ない、お上の授かりだったのですね。また、来年も千の風に乗って来てください。お願いします。

南無妙法蓮華經

信行会会長 植村 俊親

「眼難汝を玉にする」「若いときの苦労は買つてでもせよ」昔と言うと随分前のようです、私達の若い頃読んだ本(諺)には、この様な諺が載っていたようです、

「恨みに報いるには徳を持つて征せよ」「己の欲せざる所人に施すなかれ」「大東亜戦争時共存共栄自他共栄」と言う思想もありました」「春眠暁を覚えず」唐朝

は詩の時代と言われる。なかでも 玄宝の盛唐いわれる時期には、唐朝の充実した力がおのずから外に溢れ出たような、内容豊でのびのびした力量の詩人たちが多く出ている。

春眠暁を覚えず 処処

啼鳥を聞く 夜来風雨の声

花落ちること知る多少ぞ ずいぶんたくさんの花が落ちたことだろうなど、うつらうつらしている春暁の寢床はまさに二十世紀の現代人にも涅槃の楽しさである。庭に桃の木(中国人は詩で花という場合、多くは桃をさしているようだ)のない方々は大変残念なことだが、その時は雀の声をきき、屋根瓦にさす日射しを想像して、雨が降つてどのくらいカウントがふえただろうなどと核兵器のことを考えた



早い仕事より確かな仕事、技術と信用の

(有) 白 井 組

建設業

〒811-2108 福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘 4-3-9 TEL(092)932-7397

り、税金のことを考えたりしないですむひと朝が許されれば、この涅槃にはいい。

南無妙法蓮華經

## 檀信徒投稿覧

妙教寺総代 花田 正月

“第37回海上施餓鬼大法要に参加して”

今年も無事海上施餓鬼に参加できます。会場の国際センターは良く解らなかつたのですが船頭さんが多くて山へ登ることもなく、無事海へ到着することが出来ました。

御前様が博多湾には、日本国、元国の戦場として、勇猛盛んに戦った幾万の人々の霊が眠っている、この人々



厳粛に執り行われた海上施餓鬼大法要

の霊を慰めなければならな  
いと、志賀島に法華経王国  
建設のため全てをなげうつて、  
日夜努力された意志を微少  
なりとも、受け継いで、本懐  
達成したいものだど、常に思  
考していますが、本年もその  
一環である日蓮宗福岡西筑  
組門中会による海上施餓鬼  
大法要が七月十七日博多  
港国際ターミナル大ホール  
において、執り行われました。  
法要に引き続き慰霊献華式  
等が執り行われました。朝  
焼けが出ていましたが、先ず

先ずのお天気でした、博多  
湾を一望しながら、菊の華  
を献花しました、霊前には  
妙教寺筆頭総代の村上様  
のお供えされた献花と、日蓮  
宗福岡西筑組門中会が供  
えられ華やかな献花が一段  
と華を添えていました。

講演は日蓮宗佐賀県布教  
師会長、佐賀県 国相寺御  
住職 松島正英上人による、  
講演が行われました。



講演をされる松島正英上人

その一端をご紹介したいと  
思います。外は30度を越え

る猛暑であり、法話もあり、  
皆様が居眠りする時間です、  
私も全くその通りだと共鳴  
しましたが、そのうちにその  
お話に思わず吸い込まれて  
いきました、施餓鬼、十界、  
人間の往生、成仏等について、  
お話下さいましたが、その中  
で一つ二つ紹介しましょう、  
開経偈のなかに「若は信(し  
ん)若は謗(ほう)共に佛道  
を成ずというくだりがあり  
ますが、これは、信ずる人  
も、信じない人も、自分も他  
人も共に佛道を成ず、と言  
う意味のことです、これが法  
華経の中で一番肝心なこと  
です。末法の時代、ここに生  
きるわれわれの存在について  
興味深いお話を頂きました。  
た。

女の人は生まれて、女編に  
良と書き娘様になり、女偏  
に家と書き嫁になり、女編



に古いと書き姑となり、女編に波と書き婆となる、今日こられている大半の人が、この最後に字に匹敵するようです、今まで話したことは、外に出られたら猛暑です、暑い暑い、タクシーは何処だろう、迎えのバスは何処だろう、すっかり忘れられて



お題目を唱えられる花田総代  
(前列右側)

結構です、唯だ、今日家に帰ったら、有難うと言う言葉だけ、お嫁さんに、貴女が留守番して呉れたからお参りが出来ました、本当に有難うと、言う言葉を忘れな

いで懐ければ今日のお話は成功です。と言われ締めくくられました。

来年も無事参加できるよう一年間頑張りたいと思います。

南無妙法蓮華經

信行会計 高原 靖子

〃肥後本妙寺参拝に

参加して〃

お盆の候 残暑お見舞い申し上げます。

去る四月四日、総代並びに各役員、檀信徒の皆様とご一緒に本妙寺へお参りさせて頂きました。

弱冠二十七歳で肥後の国を治めた加藤清正公の御廟所であります本妙寺は、寺庭の桜が美しく又、熊本市内を一望に見渡せる高台にあり

ます。

その本妙寺の清まったお御堂の中で、高野英一師を中心にして一生懸命にお題目を唱えていくうち、皆の気持ちがあひとつになつていくのを感じました。

毎年、清正公様の御命日(新暦七月二十三日から二十四日)には、頓写会と呼ばれる法要が盛大に行われ多くの参拝客で賑わうそうです。

参詣後は、熊本城にも足をのびしましたが、城内の桜が今を盛りと見事な花を咲かせ、天守閣には、御題目旗、甲冑、長烏帽子など清正公様ゆかりの品が展示されていました。その中でも特に、自筆で写経されました和紙を内張りして作られた黒漆の烏帽子は、清正公様の信心の深さがしみじみ感じられました。

御祝い・法事などの引き物、ご進物・ご贈答に

しよ子本舗 野堂のお菓子を御愛用下さい。



(詰合せ例)

名菓 しよ子 大野城サティ店  
大野城市錦町4丁目1-1 大野城サティ1階  
TEL・FAX 092-592-2126

強い信仰心の上に裏打ちされた生きざまは、肥後の国の人々の尊敬と人望を一身に集められたであろうことが想像されます。



桜満開の熊本城天守閣

自分が同じ日蓮宗の檀信徒であることが誇らしく有難く思いました。

私は、これまで恵まれた環境に育つてまいりました、又それが当り前と思ひ過ごしてまいりましたが、今私達は御先祖様や両親のお陰でこの世に生をうけ、生かされているのです。

御先祖様のお陰で日蓮宗に

ご縁を頂きました今日、御上人様、坊守様、総代様、各役員様をはじめ檀信徒の皆様のご指導を仰ぎながら、日々精進してまいりたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

少しづつながら、信行会において行学の二道に励み子孫孫にも仏の道を伝えられる自分になれましたら、どんなに幸せなことだろうと報恩感謝の心で過ごしてまいりたいと願っております。

南無妙法蓮華經



満開の桜を後ろに記念撮影  
(筆者後列右)

昇町地区 植村 徳

「素直な心」

妙教寺の檀家となり数年がたち、お寺の奥様から「三沢の清正公に皆なと一緒にお参りをしよう」と声がかかり「はい」と返事はしたものの、その頃私は、都府楼駅の近くにある丸山病院に入院中の妹の看病のため病院まで毎日通っていましたし時間を気にしながら都府楼から三沢駅に行きお清正公様に着いたときにはお経も終わりになっていたりと足の運びの重いとときの方が多かった様です。

お清正公様に着くとお経があがっているときは、奥様皆さんと一緒にお経をあげお経が終わると、お茶やお菓子をいただきますながら奥様

のお話が始まるのです。

自分達について廻る因縁のこと、その因縁に対して自分達が、素直な気持で向かい合えば必ずやこちらからお願いしなくても神は、お聞きとづけていたとづけるとのこと。何度となくお参りをしてお話を聞くうちに、いつの頃からか、お清正公様への途中の景色も昔のなつかしい思い出の土地へ向う様な楽しいことへと変ってきた様です。

今では皆様と一緒に、お参りをいろいろお話し出来ることが心の休まる一ときです。

御清正公様へのご縁、皆様方とのご縁に感謝して又のお参りの日を楽しみにしております。

合掌



信行会役員 有岡 栄子

〃報恩感謝の心で〃

私が元寇園教会へお参りと作業に行くきっかけは二つあります。

一つは、子供の頃、祖母の導きにより、お題目を頂くきっかけがあつてからです。一つは、弟(英勝)が妙教寺にお世話になっている事です。おかげで結婚して子供が生れ大きくなるにつれて、色々な事がありましたが、何とかきりぬけて来れました。

主人が亡くなった時にお題目で送る事が出来たのも、亡くなれた御前様、坊守様、お寺の方々のおかげ、先祖様のおかげ、お題目のおかげです。心ばかりのお礼と思つて行かせて頂いております。

元寇園教会が出来て間も

ない頃お寺よりお参りに行かれた時に一度行つただけでしたので、当時の印象と違つてとても広いのに驚きました、色々な木や花が植えてありましたが、背の高い草や竹が生い茂っている所もありました。



当教会に植えてあつた木や草花等を利用して、再生された庭園

御住職上人様はじめ、お寺の方々、有志の方々といつしよに草を刈り、根を掘り上げ、畑を作りました、作業をしながら、先に当教会にご縁があつた方々の作業の話聞かせ

て頂き大変なご苦勞をされて整備された事と思ひました。

今では、お参り、掃除、花を育て野菜作りをさせて頂いております。身体が続く限り、運転が出来る限り行かせて頂きたいと思つています。

先日、御住職上人の計らいにより弟の得度式を行うことが出来ました、お寺様、坊守様、役員の方々はじめ沢山の皆様のご指導などがあつてのことだと思ひ感謝いたします。

今後は、姉として弟を後押しし、寺族としてお寺を守つて行きたいと思つてます。

これからは、弟が各家へお参りに行かせて頂くかと思ひますが、皆様どうぞ宜しくお願ひ致します。

合掌

平成 17 年度～平成 34 年度

立正安国・お題目結縁運動

日蓮宗

「住職上人賞に当って」

「妙教寺だより」再発刊に際して原稿用紙を早くからいただいで、何でもいから書いてくださいと言われていたのですが、なにせ字を書くことと、文を作ることが大の苦手なものですから、ほったらかしにしていたが、いよいよもつて書かないわけにはいかなかったことになりました。

それは、今年正月の福引大会で御住職上人賞の自転車が当たり、大きな徳をいただき今年は特に大事な年に感じました。

妙教寺にお世話になり30年ほどになり、その間いろいろな事がありました。

信仰し始めた当時は、あまり信じていなかった主人と信

仰のことで喧嘩もしました。しかし、家庭内でのいろいろな出来事がきっかけで、主人も信仰に対して考えるようになって、少しずつ意味が解つてくれているのではないかと思えます。今では、信仰がないと不安なところがあるようにも感じます。



太鼓を叩いて唱題行をされる樋口さん夫婦(肥後本妙寺にて)

日貫上人様がお元気だった頃、手相を診ていただいたとき「君は変な死に方をする」と言われましたが、「それは信仰によって救われる」と教えていただいたのです。

信仰によって人生の厳しさ、

そして苦しみを修行させて頂きました。志賀島元寇園教会での作業もその一つの修行だと思っています。そのおかげで、二年前に大病になったときにも慌てることなく、心身に受け入れることができまして、病院にいるときから今までも、不安を感じたことはありません、これも信仰のおかげだと思っています。

「人は、病気では死なない寿命で死ぬんだ」と、いう話を聞いていました。今までに病気がいろいろな事で徳を使ってきました、これからも多くの徳を使うとおもいますが、これからも妙教寺、元寇園教会とともに、がんばって、お経・供養・菩薩行に努めるように心掛けたいと思っております。

南無妙法蓮華經

人の安全・車の保安・真心サービス

スピーディをモットーに  
民間車検・国土交通省指定整備工場

# 井上自動車株式会社



本社

福岡市博多区麦野 1 丁目 1-38

電話 (581)4607・3089 ☎812

FAX (581)4 7 9 6 -0882

第二工場

福岡市博多区井相田 2 丁目 3-25

電話 5 7 1 - 7 3 7 6

全国ネットワークのロータス優良メンバー工場

# 日蓮大聖人のおことば

④

## 如説修行抄

天下万民諸乗一仏乗と成つて妙法

独り繁昌せん時、万民一同に

南無妙法蓮華經と唱へ奉らば、

吹く風枝をならさず、雨壊を碎かず。

代は義農の世となりて、今生には

不祥の災難を払ひ長生の術を得、

人法共に不老不死の理顕れん時を

各各御覧ぜよ。

現世安穩の証文疑ひ

有るべからざるものなり。

(聖人五十二歳佐渡での著述)



虚空蔵菩薩から明星のような知恵の大宝珠を受けられる日蓮大聖人

如説修行、功德甚多、：

諸山参拝の折に書いて頂くご朱印帳や、行衣等によく見る一説です。

教えのとうりに修行すれば、それは多くの功德を積むことになりまうと言ふことです。説とは、ここではお釈迦様の教え「妙法蓮華經」のことをいいます。

「日蓮聖人は、十二歳で當時、天台宗であった清澄寺に登られ十六歳で出家得度されました。聖人は清澄寺の守護神として又、知恵の神とし

て祀られている虚空蔵菩薩に對し「われ日本第一の智者となさしめたまえ」と毎日祈願されました。

それは教主釈尊の本意になつた真の教えはどれであるかということ、なぜその教えがたくさんの宗派に分かれているかを見極めるためでした。その結果、末法の時代の人々を導き、国を救ふことのできる教えは、法華經以外にないことを確信されました。

私たちも日蓮聖人の末弟子として少しでも法華經の教えを理解し社会生活の中に生かして広めて行くことが

「如説修行」となるのではないでしようか。聖人は、この御妙判で世界中の人々が皆この教えを信じ、お題目を唱えるようになれば平和な世の中になると解かれています。

「各資料参考」(高野 英典)



# 寺宝④

最上位経王大菩薩

(当山御守護神)

御宝前向って左側の守護神堂に最上稲荷様とお呼びしている(一)守護神があります。

稲荷様とは言っても、神社等の狐を祀ったお稲荷さんではありません。正式なお名前は、「最上位経王大菩薩」と称されます。



当山安置の最上位経王大菩薩様

一般的なお姿は、女神像で柔和にして豊麗で左の肩に稲束を担い右手に鎌を持たれ、

如意宝珠(一切の願いが意のごとく叶う不思議な珠)をくわえた白狐に乗っておられる姿が多いのですが、当山の御像は、白狐のかわりに白雲に乗っておられる立像です。

本来、久遠実成(永遠の昔に成仏された)本師釈迦牟尼仏の応現(仮の姿に形を変えた)として衆生の済度(人の悩み・迷いを解

決してやること)の為に菩薩の姿となつて現われた。法華経を守護される(一)守護

神中で最も位の高い御守護神です。

稲束は五穀の神であること象徴し食糧をもつて生活を守護することを意味し、鎌は稲束と共に豊作を表し、広く労働を守護し、更に悪を払い清める意をも表します。

記録によりますと、当山の御像は大正十三年仏師 松田瑞慶・田村賢司・その弟子 宮寄千代姿・有田百之等の手によつて奉彫刻され、当山第三世大光院日演上人代に、当時の信者 上田宗七氏により奉納されたと記されております。

(高野 英典)  
「日蓮宗事典参考」

拝む心で尊い品を

## 梅谷仏具店

本店 〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9

TEL 092-271-0456

年中無休 駐車場完備

支店 〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4

TEL 092-806-7499



# 信行会より

## お盆を迎えるにあたって

ご先祖をお迎えしてまつる盂蘭盆会は、いつまでも大切にしたい行事です。

八月十三日から八月十五日までのお盆中は、普段の仏壇とは別に、机などを利用した「精霊棚」を設けて、そこにご先祖の霊をお迎えし、ご供養するのが習わしです。

精霊棚は、四隅(あるいは両脇)に笹竹をたてて、上方に真菰の綱をわたし、そこに栗の葉、ほおずき、がまの穂、みそはぎ、粟の穂などご先祖さまの依代である盆花を吊ります。

精霊棚には、真菰のゴザを敷いて、その上に果物、菓子、

野菜などの供物をお供えます。新盆の方の好物を供えるのもいいでしょう。ただし、魚、肉などの生臭物はさけてください。

また、蓮の葉に「水の子」といつて茄子を賽の目にきざんだもの(左側)と水を器に入れて(右側)に置きます。

お詣りするとき、みそはぎの小枝に水を含ませて左側の茄子の上にそそぎます。

麻幹の足をつけた胡瓜の馬(左側)と茄子の牛(右側)を置きます。馬は一刻も早くご先祖さまをお迎えしたい、牛はお土産を持つてゆつくりお帰り下さいという意をあらわします。

精霊棚のかざり方は、地方や家によってそれぞれ伝統があるようですが、およそ左の図を参考にしてください。

さい。

八月十三日に門前で麻幹を焚いて「お迎え火」をし、その火を精霊棚のお灯明にうつします。十五日の「送り火」は、その反対で、精霊棚のお灯明の火で麻幹を焚いてご先祖の霊を送ります。

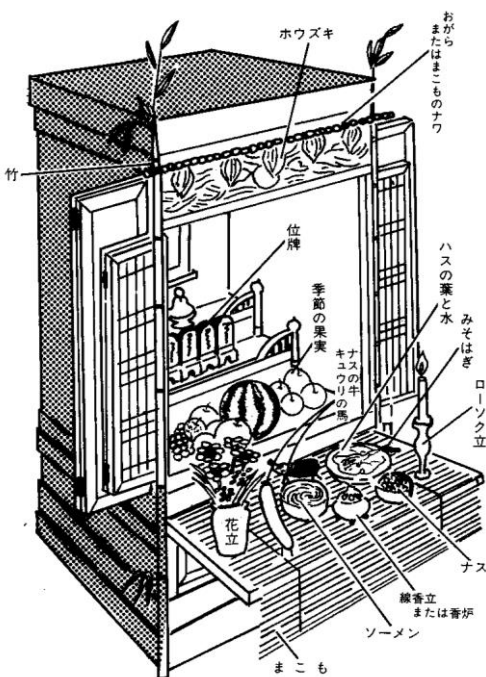
お送りした後、お飾りした供物などは、真菰と一緒にお焚上げをして、灰を庭のすみなどに埋めてください。

都会などでそれが許されない場合は、よくお題目を

お唱えし、お盆飾りだけを他と別にして一つにまとめて処分することも致し方ないでしょう。

最近では、お飾りも省略し、家の者だけで簡単にといい傾向がありますが、事情の許す限り、親族や親しい方々とともに心をこめて供養したいものです。

殊に故人への追慕の念も深い新盆は、大切にお迎えしましょう。お寺の施餓鬼会などで、ご先祖とは別に塔婆供養するなど、新盆の供養は厚くなされるとういと思えます。



「各資料参考」

(高野 英典)





1/14 星祭り、新春福引大会  
住職上人賞は東大利の樋口美智子  
さんに当たりました。



元旦 新春初参詣祝禱会、本年  
初めての御法味を差上げました。



1/21 婦人会主催寒修行、団扇太鼓  
を叩いて唱題行に励みました。



2/3 節分追儺会、福は内、鬼は外  
福は内、鬼も内

行事スナップあれこれ



5/25 檀信徒総会、宗祖御生  
誕 800 年に向けて本年よりスタ  
ート



4/4 熊本城見学会、お城を見  
ながらお弁当を頂きました。



4/4 本妙寺参詣、清正公様 400  
遠忌を前に役員並びに檀信徒  
有志で参りました



7/27 盆前大掃除 皆様の  
協力により大変綺麗になり  
ました。お疲れ様でした。



7/17 海上施餓鬼大法要、博多  
湾に向かって献花をされる檀  
信徒の皆さん



6/17 別院芋苗植え会、すく  
すく育つように祈りながら  
植えられる住職上人



## ご挨拶



当山修徒

高野 英一

合掌 日頃より檀信徒の皆様には、お世話おかけしております。

さて、この度私、御師僧(当山御住職)のお許しを頂き、教師になるための宗門の基本修行を学ぶ修練道場「信行道場」に入場させて頂くことになりました。場所は日蓮宗総本山身延山に於いて、期間は、八月二日より九月五日までの三十五日間です。道場では行学二道に励み教師としての使命と自覚を学んで来たいと思います。留守中はご迷惑をおかけしますがよろしくお願い申し上げます。

簡単ですが入場のご挨拶とさせて頂きます。 再拝



当山修徒

松尾 英勝

去る六月二十二日に、御住職上人のお許しを得、得度式を行こなって頂きました。偏に御住職上人様、坊守様、諸先輩、寺族の方々、総代・役員の皆様、檀信徒の皆様のご指導とお力添えがあつての事と深く感謝申し上げます。

お盆の棚経廻りより各家へお参りさせて頂きますが、仏様に失礼が無いように努力してまいります。何かお気付きの点が有りましたら、遠慮なくご指導下さい。

今後は次の目標に向かいながら、宗門の活動、法務などに、努めてまいりたいと考えております。これからもうぞ宜しくお願い致します。

## あとがき

★ 最近、小学生の登校に合わせて交通安全を兼ね、みどり(旗は黄色ですが)のおじさんになっていきます。

朝7時30分から45分間程ですが、子ども達との色々な出合いがあつて大変楽しくて、有意義(私にとって)な時間をすごすことが出来ています。

雨の日も風の日も毎日決まった時間に起床することで、生活のリズムが確立され、子ども達の笑顔にも会え一日のスタートとしては最高の至福(少しおおげさかな)の間となつていきます。

当初は、子ども達も「お早うございます。」の挨拶も応対はそこそこでしたが、今では、ほとんどの子が声を出して挨拶し「行ってらっしゃい」の言葉にも「行って来ます」と云

う対応もあるようになってきました。

子ども達も様々で「今日も元気に行こう」とハイタッチをして行く子ども達もいて、色々なパフォーマンスが見受けられるようになって来ています。私も負けずに、何か子ども達に印象にのこるような、一日が元気になり励みになるようなパフォーマンスが出来ればと思つている昨今です。

★ 皆様はいかがですか、家庭内外での「お早よう」「いただきます」等々色々の挨拶、一番簡単なようですが、声を出して云うことは何々難しいことでもありますね。

「お早うございます」で一日のスタートを。 そうそう、仏壇にご挨拶も……………

(編集副委員長 白水岩人)

# 平成二十年行事予定（八月～十二月まで）

## ◎八月三日（第一日曜）

- ・月祈祷祭 午前十時より
- ・三沢清正公堂大掃除 午後より

## ◎九月二十九日（第五月曜）

- ・「お題目のつどい」
- ・福岡市西区妙泉寺様に於いて

## ◎八月六日～十五日

（水～金）

- ・盂蘭盆棚経廻り 早朝より

## ◎十月五日（第一日曜）

- ・月祈祷祭 午前十時より
- ◎十月十九日（第三日曜）
- ・お会式

## ◎八月十七日（第三日曜）

- ・盂蘭盆施餓鬼供養会 午後一時より

## ◎十月二十二～二十五日

（水～土）

- ・慶讃第一期記念団参

## ◎十二月二十七日

（第四土曜）

- ・年末総供養施餓鬼会 午後一時より

## ◎九月二十～二十六日

（土～金）

- ・秋季彼岸棚経廻り 早朝より

## ◎十一月二日（第一日曜）

- ・月祈祷祭 午前十時より
- ◎十一月二十三日
- （第四日曜）
- ・月施餓鬼供養会 午後一時より

## ◎十二月二十八～三十日

（日～火）

- ・正月飾付け準備

## ◎九月二十八日（第四日曜）

- ・各家勧請守護神祭
- ・秋季彼岸施餓鬼供養会 午後一時より

## ◎毎月第一日曜日は

- ・信行会（十二時より）
- ・三沢清正公堂お参り（午後より）

※行事予定日は、変更させて頂くことがありますので、事前に発送します案内をご確認下さい。

## 《御霊屋・納骨堂 加入者募集》

- 近代的格調高い
- 耐久性にすぐれる
- 御先祖様をおまつりするのに相応しい荘厳な佇まい

※一時払い不可能な方は、分割払い制度をご利用下さい。  
 ※くわしくは、お寺又は護持会事務局までお問い合わせ下さい。

春日山 妙教寺 092-581-1266

発行所 非売品

大野城市錦町二丁目一番二十七号  
 春日山 妙教寺

〇九二(五八二)二二六六